

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内
 TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354
 西日本支部：〒663-8133 兵庫県西宮市上田東町 4-97 甲南電機 (株) 本社内
 TEL. 0798-40-6600 FAX. 0798-40-6645

第 26 回政策委員会開催される

第 26 回政策委員会を平成 29 年 12 月 15 日 (金) 16:00~16:50 の間に開催し、平成 30 年度の事業計画と収支予算 (案) 等について審議しました。初めに永久会長の挨拶がありました。その後、事務局から以下の 2018 年度の事業計画 (案) について説明し、審議の結果、一部指摘事項があったものの、基本的に了承を得ましたので、次回理事会に上程し審議することになりました。(網目が新規事業を示す。)

- 1. 公益事業
- 1. 需要対策事業

フルードパワー産業の市場規模を把握するため、

需要産業の投資動向等についてマイクロ・マクロ両面から調査・分析し、成果を公表する。また、定期配信している受注・生産・出荷動向等についても迅速な資料収集・発表方法等を検討する。その他、以下の事業を実施し、関係資料を会員企業はもとより、マスコミ・シンクタンク・金融機関等に広く提供する。

- ①総需要委員会において、平成 30 年・年度及び平成 33 年・年度の油空圧機器の需要見通しを作成するとともに、必要に応じ 30 年・年度の見直し作業を行い関係者に資料配布する

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 26 回政策委員会開催される	1	広報・PR 事業	6
委員会開催・活動状況		会員ニュース	6
国際交流事業	4	工業会ニュース	6
標準化事業/ISO 対策事業	4	お知らせ	7
標準化事業/規格事業	5	統計資料	10
技術調査	5		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

- ②フルードパワー機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出入等市場動向に関する調査表等の回収・発表を迅速化する方策を検討し、その実施方を図る
- ③需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に配布するとともに、関連団体の関係者を招いて意見交換する
- ④その他需要対策に必要な事業を実施する

2. 国際交流事業

グローバル化する世界の経済状況のなかで、国内需要に多くを期待できないフルードパワー産業は、海外の市場開拓は喫緊の課題であり、それら国・地域の産業政策を含めた市場動向の把握が必要である。とりわけ中国では「製造強国 2025」政策を掲げ産業の高度化を推進しており、わが国としてもその動向には十分注視してゆく必要がある。こうしたなかで、定期開催している「国際委員会」については必要に応じ臨時開催も検討する等柔軟な体制で、以下の事業を実施する。

- ①海外のフルードパワー産業に関する情報を収集するため、国際会議等に参加する。また、視察団の派遣や海外見本市への出展の検討を行い必要に応じて実施する
 - イ) ユーザ産業関連展示会等への視察団派遣の検討及び必要に応じて実施する
 - ロ) 「製造強国 2025」等海外動向に関する情報収集と分析を行い、必要に応じ講演会の開催を検討する。
 - ハ) 国際サミット会議・国際統計委員会に参加し、成果を会員や関係者等に提供する
- ニ) MDA-INDIA 2018 等へのカタログ展示を中心とした共同出展への参加や視察団派遣の可否について調査・検討し、必要に応じて事業を実施する
- ホ) 2019 年 4 月のハノーバーメッセ開催に併せ視察団派遣の準備を行う
- ヘ) NFPA カンファレンス等の情報を、JETRO と協力して収集し情報提供する
- ②Fluid Power Industry in Japan 2018 年版を発刊する
- ③最新の海外現地事情を得るために、海外勤務帰国者を招き時講演会を随時開催する
- ④新興諸国の産業・市場動向等について情報収集し、統計データ類を整備するとともに各国の関連団体との交流を推進する

- ⑤会員企業の海外進出状況調査を行うとともに安全保障貿易管理や公正貿易ルール等について、在外公館等と連携して情報や資料の収集を行い迅速に提供する。また、必要に応じ講演会を開催する
- ⑥その他、国際交流に必要な事業を実施する。

3. 標準化事業

関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化に貢献するため、大学関係有識者の協力を得て、ISO や JIS、団体規格の新たな制定・改廃等以下の事業を実施する。

1) ISO 対策事業 (JKA 補助事業)

- ①ISO 規格について検討し、必要に応じ制定若しくは改廃するとともに、我が国提案の ISO 規格化への推進を図る
 - イ) ISO/DIS 20145 Pneumatic fluid power -- Test method for measuring acoustic emission pressure level of exhaust silencers に関する日本案採用活動の推進
 - ロ) 水圧駆動システムに関する新規 WG (TC131/SC9/WG3) の設置提案
- ②ISO 国際会議へ積極的に参加をする
 - イ) ISO/TC131 関連の国際会議への委員派遣 (H30.5 : イギリス・ロンドン, H30.10 : ドイツ・フランクフルト)
 - ロ) ISO/TC118/SC3 及び SC4 への国際会議への委員派遣
- ③ISO/TC131/SC7 (密封装置 : 各国との連絡・会議案内・翻訳業務等) 幹事国業務を行う

2) 規格事業

日本工業規格、団体規格について審議し、必要に応じ制定若しくは改廃する。

- ①日本工業規格 (新規)
 - イ) JIS B 8668 油圧—2 ポート形スリッピン式カートリッジ弁—取付面及び取付穴寸法 (H30.4 から改正作業)
 - ロ) JIS B 8358 油圧—ブラダ形アクチュエーター取付面及び取付穴寸法 (H30.8 から改正作業)
 - ハ) JIS B 8372-1 空気圧—空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第 1 部 : 供給者の文書に表示する主要特性 (H30.12 から改正作業)

ニ) JIS B 8372-2 空気圧—空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第2部: 供給者の文書に表示する主要特性の試験方法 (H30.12 から改正作業)

ホ) JIS B 8372-3 空気圧—空気圧用減圧弁及びフィルタ付減圧弁—第3部: 減圧弁の流量特性の代替試験方法 (H30.12 から改正作業)

(継続)

イ) JIS B 9938 油圧—難燃性作動油—使用指針 (H29.8 から改正作業)

ロ) JIS B 8366-3 油圧・空気圧システム及び機器—シリンダー構成要素及び識別記号—第3部: 標準ピストンストローク (H29.12 から改正作業)

ハ) JIS B 8366-4 油圧・空気圧システム及び機器—シリンダー構成要素及び識別記号—第4部: ピストンロッド先端ねじ寸法及び形状 (H29.12 から改正作業)

① 団体 (工業会) 規格

(新規)

イ) JFPS 1003 油圧シリンダ用パッキンの使用・選定指針

(継続)

ロ) JFPS 1026 液圧ホースアSEMBリの取扱指針

4. 技術調査事業

フルードパワー産業及び関連産業技術の高度化・合理化・省エネ化等に貢献するため、新技術情報や新製品情報の提供を行う等、油圧部会及び空気圧部会並びに水圧部会で以下の事業を実施する。併せて、学会、工業会開催事業での相互交流を通じて、学会との協力関係も引き続き強化・推進する。

1) 油圧部会及び空気圧部会

① ポケットブック2012年版の改訂必要性について検討すると共に、その実用油圧ポケットブック及び実用空気圧ポケットブックの改訂に関し、各技術分科会結果に基づき編集委員会を設置し具体的な改訂の検討を行う

② ユーザ業界の最新の技術動向を把握するための技術講演会を実施する

③ 若手技術者のスキルアップのために、若手技術者懇談会 (油圧部門、空気圧部門) の内容の充実を図り開催する

④ 高等専門学校等の先生方に産業界の実態をよく理解していただくための方策を検討し、試験的实施を試みる。

⑤ RoHS2 規制と REACH 規制等のグリーン調達、及びCEマーク等との関連等に関する情報収集と提供を迅速に行う

⑥ フルードパワー業界の知的財産の保護に関する事業を推進する

⑦ 中央職業能力開発協会からの要請に応じて、油空圧機器部門の中央技能検定委員 (特級・1級・2級) の推薦、及び必要に応じて会員企業への情報提供を行う

⑧ その他、油空圧技術に関する諸問題に対応する

2) 水圧部会

① 「ADS 機器技術仕様調査委員会」にて、引き続き ADS サプライヤーの製造・販売・取扱い機種、性能等詳細仕様の調査結果をまとめ、水圧技術の国際標準化に向けた規格案作成に資する

② IFPEX2017 の水圧テーマコーナーへの来訪者情報を分析・総合して、2014以降のニーズの動向を探ると共に、今後の部会活動に役立てる

③ ADS の更なる普及促進を図るため、HP 及びブログの運用を拡充強化するとともに、ADS 需要分野として期待される各種見本市への参観調査を行い、併せて出展を検討する

④ 内外の水圧技術 (知的財産権問題も含む) の動向や情報収集等を行うとともに、必要に応じて国際会議にも参加する

⑤ その他水圧技術に関する諸問題に対応する。

5. 広報・PR 事業

電子メールやHP等を活用し、会員企業に適切な情報を迅速に提供する他、工業会の活動状況等について会員企業はもとよりマスコミ・シンクタンク・金融機関等にも広く提供し、工業会活動の「見える化」を一層進める。

① 機関誌「フルードパワー」を四半期毎に発刊し、会員企業はもとより関係機関等にも広く配布するとともにHPに掲載し、広く広報・PRに努める。特に、若い人に当業界の魅力伝えるために、編集委員会にて検討してきた新記事企画「次世代フルードパワー! 活躍する若手」の掲載を開始する。併せて、大学図書館等への配布先の拡充を

図り、これまで以上に幅広く活用される機関誌の出版を目指す

- ② 工業高校・高等専門学校・大学等における教育資料、副教材等への活用として、「フルードパワーの世界」デジタルブック版の普及を図る
- ③ 「月報フルードパワー」を、会員企業はもとより関係機関等に電子配信するとともにHPに掲載し広く広報に努める
- ④ HPの内容をタイムリーに更新し、会員及び学会・関連関係者への情報開示を積極的に進める。特に本年度は英語版の充実を図る
- ⑤ その他広報・PR活動に関する事業を推進するとともに、当会が開催する講演会等について積極的な広報・PR活動を行う

6. 中小企業関連事業

グローバル化の進展に伴い中小企業を取り巻く経済環境は激変しており、中小企業の経営体質の強化に加え経営者層の世代交代による若返りが急速に進展している。このため、円滑な世代交代を行うためにも、既存法体系の抜本的な改正・拡充が求められている。

このため「中小企業委員会」と傘下の「中小企業WG」「次世代経営を考える会」で事業を機動的に運営するとともに、特に「中小企業WG」では、中小・中堅企業が抱える課題の分析と対策等について検討する。また、関西地域の会員の利便を図るために、委員会を関西で1回程度開催する。

- ① 中小企業向け技術研修事業(技能士受験対策講座)を昨年度の試行の結果を踏まえ、西日本支部で行われてきた研修教育事業との調和を検討し、会員の利便性に寄与する
- ② 需要業界動向等や中小企業施策等の動向について経済産業省等と連携して迅速に情報を収集し提供する。また、中小・中堅企業の円滑な事業継承のための、施策の在り方について検討するとともに、関連する部会と合同で講演会を開催する。また、必要に応じて、視察等を行う
- ③ 中小企業委員会の下に設置したWGでは、委員会の円滑な運営を図るための企画調整を行うとともに、中小企業特有の共通した課題を抽出し、解決策について検討し、委員会で議論するとともに必要に応じて研修・視察を行う

- ④ 「次世代経営を考える会」にて、引き続き研修・視察活動を行う
- ⑤ 中小企業を支える福利厚生事業の「共済制度」の参加企業の拡充を図る
- ⑥ 消費税転嫁対策特別措置法に基づく対策を引き続き実施する
- ⑦ その他中小企業の振興に必要な事業を実施する

7. 振興対策等その他事業

激変する経済環境に的確に対応するため、需要業界の動向やPL・標準化問題等について情報交換を行う。また、年始会・総会・支部総会等を通じ、学会や関連業界関係者等との交流を深め、業界の振興・発展を図る。

1) 振興対策事業

- ① 第29回JIMTOF 2018(平成30年11月1日(木)～11月6日(火)の6日間)の開催に併せ、展示会場内に当会ブースを開設し、出展会員会社に対し便宜供与を行う。
- ② 国内及び世界の市場動向の把握のため、産機・建機合同部会及びシリダ部会、空気圧本部会を開催し、今後の市場をけん引していくとみられているインドや東南アジアの市場動向に関する情報収集を行うとともに必要に応じ見本市の視察等を実施する
- ③ 東京オリンピック・パラリンピックの開催で、2020年にビックサイトが使用できないことを踏まえ、次回IFPEXの開催の在り方を検討し、決定する
- ④ 地域経済の環境変化に対応するため、各地区部会や支部会を適宜開催するとともに、必要に応じ本部委員も出席して意見交換を行う
- ⑤ その他振興対策に必要な事業を実施する

2) PL対策事業

海外PL及び国内CGL(国内PL・作業・業務遂行・施設のリスク:COMPREHENSIVE GENERAL LIABILITY)からなる団体総合保険制度の健全な運営を図る。

- ① 本保険制度の基盤を強化するため、ワールドンシュアランスグループ等と連携して参加会員企業の拡大を図るためPR活動を引き続き実施する
- ② 国内外地域を対象とした製造業者E&O(経済損失カバー)保険制度が実現したので、参加会員企業の拡大を図るため関

係者と連携して加入を進めていく

- ③ 国内PL 情報や海外PL 情報及び様々な企業リスクを迅速に収集し会員企業に提供する

イ) ケーススタディを中心としたPL・企業リスク対策等の講演会を開催する

ロ) 三井住友海上火災保険(株) 提供のPL ニュースを電子配信する

ハ) ワールドインシュアランスグループ提供の情報を電子配信する

ニ) 東京海上日動リスクコンサルティング(株) 提供の海外安全トピックスを随時電子配信する

ホ) その他のPL 関連情報の収集と提供等PL 対策に必要な事業を実施する

3) その他事業

① 中小企業に限定しない新入社員等若手社員等を対象とした研修事業の創設を検討し、実施を試みる。なお、本事業実施に当たり、講師の確保、会員企業の協力体制の在り方についても検討する

② 省エネ型水圧システムに関する国際標準化推進事業を実施する(経済産業省からの受託事業:3年計画の1年目<申請中>)

③ フルードパワーの国際競争力に資する標準化推進事業を実施する(JKA 補助事業<申請中>)

④ 規格事業のうち公募によるJIS 原案作成事業を実施する

⑤ 官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業等を行う。

⑥ 年始会や総会後の懇談会・西日本支部総会を開催する

⑦ 西日本支部活動を支援する

⑧ その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施する

III. 予算策定時の会員状況

平成30年4月1日現在の会員数は、正会員63社、賛助会員59社です。

次に上記事業を実施するため、事務局から以下の通り平成30年度収支予算(案)を説明し、審議の結果一部指摘事項があったものの、次回理事会へ上程することが承認されました。以上で審議が終了し16:50に会議は終了しました。

委員会開催・活動状況報告

(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~

### 国際交流事業

~~~~~

国際委員会及び講演会

日時 12月4日(月) 15:00 ~ 17:00

場所 機械振興会館6D-3 会議室

出席者 新開委員長以下9名

事務局 藤原、堀江

議事

新開委員長の挨拶に続き、平成29年度事業の進捗状況と今後の予定及び平成30年度事業計画(案)について審議を行った。平成29年度事業の進捗状況としては①ハノーバーメッセ2017 研修視察団派遣及び報告会開催、②ISC 国際統計委員会への参加、③プロダクトロニカ INDIA 展示会への出展、④IFPEX2017 での台湾フルードパワー工業会との交流会、⑤来年2月14日に開催予定の中小企業委員会との共催講演会事業について説明した。また、平成30年度事業計画(案)の骨子を説明し、基本的に了承を得ました。その後、出席会員各社の海外展開状況の報告を頂き、(一社)日本建設機械工業会常務理事の木引満明氏より、「最近の建設機械産業の動向」のテーマで講演会を開催しました。

~~~~~

### 標準化事業/ISO 対策事業

~~~~~

油空圧継手・ホース分科会

日時 12月7日(木) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館6-62 会議室

出席者 板井主査以下9名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、10月に開催されたISO ヴィンタートゥール国際会議に参加した板井主査、横岡委員、岩崎委員、緒方委員より報告が行われ、会議結果の情報の共有化を行った。特にSC4/WG2(フランジ及びポート結合)では、ISO 6162-1及び6162-2についてJISに影響する内容が話題になり今後注目していく必要があるとの報告があった。また、SC4/WG6(ホース及びチューブ継手との結合方法)では圧力数列の重要性を議論し、規格を見直すことに

なったとの報告もあった。

次いで、投票に掛かっている案件について審議した。ISO/CD 4399 及び ISO/FDIS 6162-2 は、賛成にて投票することとした。ISO/SR 6162-1 は、継手寸法の組み合わせに不都合がないか検討する余地があり、投票期限まで時間があるため次回分科会時に審議し結論を出すことにした。ISO/SR 8434-2 は、Confirm (確認) にて投票することとした。

次いで、ISO/TS 17165-2 の工業会規格化について審議した。前回提示された原案について、各委員の検討結果が報告され、JIS や教育資料との整合を取りながら完成させていくこととした。

次いで、ISO 1179-1 の JIS 化について審議した。市場情報を収集し、JIS 化するべきか否かを検討することとした。

次回開催：2018年3月14日(水) 機械振興会館

* ISO の動き

発行された ISO 規格

(TC118)

ISO 5393:2017 Rotary tools for threaded fasteners -- Performance test method

投票に付されている ISO 規格案 (FDIS, DIS)

(TC131)

ISO/DIS 4411 Hydraulic fluid power -- Valves -- Determination of pressure differential/flow characteristics

~~~~~

標準化事業/規格事業

~~~~~

油空圧シリンダ分科会

日時 12月8日(金) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館 6-62 会議室

出席者 榎本主査以下9名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、10月に開催された ISO ヴィンターツール国際会議に参加した吉田委員より報告が行われ、会議結果の情報の共有化を行った。

次いで、投票に掛かっている ISO 規格について審議した。ISO/DIS 6099 の FDIS 原案の投票については、DIS 投票でコメントしたにも関わらず原案に修正必要箇所があるため、再度コメントすることにした。また、平成29年度 JIS 原案作成公募区分 C に登録している JIS B 8366-3 及び JIS B 8366-4 の改正

について審議した。各 JIS 共に修正必要箇所について確認すると共に、具体的な原案修正に着手した。

次回開催：2018年3月16日(金) 機械振興会館

油圧フィルタ・作動油分科会

日時 12月12日(火) 10:00 ~ 16:30

場所 機械振興会館 6-64 会議室

出席者 難波主査以下7名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、JIS B 9938 (難燃性作動油の使用指針) について、改正案を継続審議し、前回に引き続き、ISO 7745 の原文との比較を行いながら JIS 原案の修正作業を実施した。その結果、次回で全文の改正が終了見込みのため、次々回に日本規格協会の担当者に参加してもらい、日本規格協会提出前の最終審議を行うこととした。

次回開催：2018年1月15日(月) 機械振興会館

空気圧バルブ分科会

日時 12月14日(木) 13:30 ~ 16:30

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 石毛主査以下7名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、JIS B 8376 (空気圧用速度制御弁) の改正について審議した。日本規格協会での規格調整結果とその指摘に対する修正結果について確認した。再度、必要箇所について修正し、本原案を最終版として、来年1月開催の JIS 原案作成委員会の審議に掛けることとした。

次回開催：2018年2月7日(水) 機械振興会館

空気圧システム分科会

日時 12月15日(金) 13:15 ~ 16:15

場所 機械振興会館 6-60 会議室

出席者 増尾主査以下6名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、リスクアセスメントガイドブックについて審議した。本文については審議終了し、附属書については基となる JIS B 9700 (機械類の安全性—設計のための一般原則—リスクアセスメント及びリスク低減) と比較しながら原案の修正を行った。また、リスクアセスメントの実施例の掲載については、各委員にて掲載可能な事例があるか否かを調査し判断することとした。

次回開催：2018年2月23日（金）機械振興会館

空気圧調質機器分科会

日時 12月20日（水）13:30～16:30

場所 機械振興会館 B3-8 会議室

出席者 小田主査以下4名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、投票に掛かっている ISO/CD 10094-1 について審議し、賛成にて投票することとした。

次いで、JIS B 8372-2 改正について、前回に引き続き、ISO 6953-2 との対比しながら改正内容を審議した。

次回開催：2018年2月20日（火）機械振興会館

空気圧継手・チューブ分科会

日時 12月22日（金）13:30～16:30

場所 機械振興会館 6-63 会議室

出席者 浅里主査以下6名

事務局 前畑

議事

前回議事録の確認後、JIS B 8381-1 の改正について審議した。継手サイズについては、各委員にて実情を調査し一覧表に整理した結果を審議し統一見解に至った。続いて、規格本文について次回より見直しを進めるべく、担当割振りを行った。

次いで、投票に掛かっている ISO/DIS 14743 について審議した。寸法に関して日本実情に合わせた提案を添付し、コメント付き賛成で投票することとした。また、関連として次回 ISO ロンドン国際会議のスケジュールに関して情報共有した。

次回開催：2018年2月20日（火）機械振興会館

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

ADS 国際標準化推進・規格小委員会（第2回）

開催日 12月15日（金）

場所 機械振興会館 B3-9 会議室

出席者 吉田主査以下9名

事務局 宮川幹事、大橋

議事

はじめに宮川幹事より、本小委員会の役割再確認と今後吉田委員を主査として規格原案作りを進めていくことが説明された。

引き続き吉田主査の進行により、第1回（10/18）とその後提出された、各機器の規格化のポイントと検討事項の集約資料を基に審議を進めた。また次回に向けて、①標準化委員会で配布された ADS 通則（案）、②ADS 機器仕様技術委員会の成果、③過去の研究委員会での調査資料などを参考に文書化を進めることとした。推進体制として、機器・システムを3グループに分け担当を決めた。

次回開催：1月17日（水）機振会館 6-63

技術委員会空気圧部会第542回特許分科会

日時 12月15日（金）13:00～17:00

場所 特許庁・機械振興会館 6-61 会議室

出席者 細田幹事以下6名

事務局 吉田

議事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、2件のウォッチング対象案件については引き続き観察することとした。鑑定書の提出された案件は異議申立の期限を超えていることから今回で調査を終了することとした。2件については引き続き調査を行うこととした。新たに1件の調査を始めることとした。

次回開催：1月26日（金）機械振興会館 6-61

~~~~~

#### 広報・PR 関連事業

~~~~~

第119回編集委員会 WG

日時 12月7日（木）14:00～17:00

場所 機振会館 6-60 会議室

出席者 宮主査以下9名

事務局 大橋

議事

1. VOL31, N04（秋号）発行報告

秋号は990部印刷、11月27日の週に発送完了。IFPEX の参観記が含まれ本文110頁、表紙・広告を含め全122頁。

2. VOL32, N01（新年号）進捗

「身近なFP」記事1点が来年に延期となった他は順調に進んでいて約半数校了。新企画の「次世代FP」も男女のペア記事として校了となっている。「ずいひつ」は連載4回のオートバイに関する新記事となる。「技術講座」は前回編集委員会直後に伊澤一康氏の「コンタミネーションコントロール」に決定した。1/15 発刊見込み。

2. VOL. 32 年間企画状況と記事提案

春号以降の「ミニ知識」は候補が複数となったため、提案者との調整を経て決定する。現状の候補記事を一覧表にて確認後、2 記事掲載も可として整理していくこととした。春号の「ルポルタージュ」訪問先も決定した。「会員企業の窓」の春号は新入会員に決まったが、夏号以降は編集委員各社のトピック的な話題を募るほか、HP 等で各社の動向調査を行う。夏号の「身近な FP」が空白であるが委員の記事提案内容から検討する。

懸案であった「RoHS2」関連記事は、TUV ラインランドジャパン等より執筆の承諾を得ており、講演会も来年 2 月に開催することとなった。

編集委員からの記事提案は少しずつ増えており、「ミニ知識」同様「技術講座」も複数テーマがあるため、状況を見ながら依頼先への打診を行うことを確認とした。

3. 機関誌のあり方検討

機関誌のあり方について引き続き検討していくこととし、宮主査作成資料を参照しながら自由討論を行った。対象とする記事の範囲と内容のほか、著作権及び引用に関する問題点等も提起された。

次回開催：

- ・第 120 回 WG 3 月 13 日（火）14～機振会館

~~~~~

工業会ニュース

~~~~~

☆平成 29 年 12 月より下記の会社が賛助会員として入会されました。よろしく願いいたします。
(賛助会員)

株式会社 神崎高級工機製作所
代表取締役社長 山岡 靖幸 殿
本社
〒661-0981
兵庫県尼崎市猪名寺 2-18-1
TEL : 06-6491-1111
FAX : 06-6494-6827
URL : <http://www.kanzaki.co.jp/>
創 立 1947 年 5 月
資本金 4,800 万円

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

*平成 30 年

- ☆2 月 8 日（木）国際・中小企業委員会合同講演会
(場 所) 機振会館
- ☆2 月 22 日（木）技術講演会
(場 所) 機振会館
- ☆3 月 29 日（木）第 27 回政策委員会
(場 所) 当会会議室
- ☆4 月 20 日（金）第 83 回理事会及び懇親会
(時 間) 15:30～16:50
(場 所) ザ・プリンスさくらタワー
高輪
2F「コンファレンスフロア」
- ☆5 月 17 日（木）平成 30 年度（第 19 回）定時総
会
(時 間) 15:30～16:50
(場 所) 東京プリンスホテル芝公園
サンフラワーホール」
同懇親会場
(時 間) 17:00～18:30
(場 所) 東京プリンスホテル
マグノリアホール
- ☆5 月 18 日（金）第 56 回 JFPA 懇親ゴルフ会
(場 所) 程ヶ谷ゴルフ倶楽部スタート
OUT 3 組
I N 3 組
- ☆11 月 1 日（木）～6 日（火）JIMTOF2018
(場 所) 東京ビックサイト

~~~~~

1 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

政策委員会

開催日 12 月 15 日（金）

出席者

委員長 永久秀治（油研工業）

委 員 白井政夫（KYB）

〃 宮内壽一（甲南電機）

〃 十万幹雄（神威産業）

〃 北畠多門（SMC）

〃 石川 孝（TAIYO）

〃 松井正彦（マツイ）

〃 古川清二（税理士法人ピランツ）

(国際交流事業)

国際委員会

開催日 12月4日(月)
出席者
委員長 新開 諭(甲南電機)
委員 北島多門(SMC)
〃 原沢直季(コガネイ)
〃 河口 悟(CKD)
〃 澤田啓支朗(タイヨーインタナショナル)
〃 風間英朗(日本アキュムレータ)
〃 鎌田有弘(TAIYO)
〃 篠根邦夫(堀内機械)
代理 宮元辰巳(KYB)

(標準化事業/ISO対策事業)

油空圧継手・ホース分科会
開催日 12月7日(木)
出席者
主査 板井淳一(横浜ゴム)
委員 岩崎宏文(イハラサイエンス)
〃 緒方征嗣(日東工器)
〃 梅津浩次(油研工業)
〃 小島研二(日本ホース金具工業会)
〃 小島博(十川ゴム)
〃 横岡慎吾(ブリヂストン)
〃 金城良(東京計器)
アドバイザー 千葉誠(JFPA)

(標準化事業/規格事業)

油空圧シリンダ分科会
開催日 12月8日(金)
出席者
主査 榎本晴夫(甲南電機)
委員 吉田泰裕(CKD)
〃 谷口長(SMC)
〃 東川智信(TAIYO)
〃 塩田浩司(コガネイ)
〃 河野喜之(甲南電機)
〃 渡部文雄(日本シリンダ共同事業)
アドバイザー 千葉誠(JFPA)

油圧フィルタ・作動油分科会
開催日 12月12日(火)
出席者
主査 難波竹己(日本ポール)
委員 三好真介(MORESCO)
〃 一ノ瀬健夫(SMC)
〃 水上敬(リオン)
〃 山田高志(大生工業)

〃 相場宣慶(東京計器)
アドバイザー 千葉誠(JFPA)
空気圧バルブ分科会
開催日 12月14日(木)
出席者
主査 石毛浩二(クロダニューマティクス)
委員 夏目清辰(CKD)
〃 大島雅之(SMC)
〃 河野喜之(甲南電機)
〃 渡邊陽(コガネイ)
〃 八手又秀浩(日本ピスコ)
アドバイザー 千葉誠(JFPA)

空気圧システム分科会
開催日 12月15日(金)
出席者
主査 増尾秀三(CKD)
委員 張護平(SMC)
〃 佐々木政彰(アズビルTACO)
〃 門間崇宏(コガネイ)
〃 神戸孝典(甲南電機)
アドバイザー 千葉誠(JFPA)

空気圧調質機器分科会
開催日 12月20日(水)
出席者
主査 小田敏裕(甲南電機)
委員 三村岳(SMC)
〃 高橋隆通(甲南電機)
アドバイザー 千葉誠(JFPA)

空圧継手・チューブ分科会
開催日 12月22日(金)
出席者
主査 浅里信之(ニッタ)
委員 條茂幸(SMC)
〃 細谷映之(アオイ)
〃 大場良太郎(コガネイ)
〃 八手又秀浩(日本ピスコ)
アドバイザー 千葉誠(JFPA)

(技術調査事業)
技術委員会空気圧部会
第542回特許分科会
開催日 12月15日(金)
出席者

幹事 細田 一也 (CKD)
委員 栗盛宏樹 (アズビル TACO)
〃 井野雅康 (SMC)
〃 出澤 大 (クロダニューマティクス)
〃 赤松直人 (甲南電機)
〃 今野英俊 (コガネイ)

ADS 国際標準化推進・規格小委員会 (第2回)

開催日 12月15日 (金)
主査 吉田太志 (KYB)
委員 大林義博 (KYB)
〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)
〃 村田秀紀 (阪上製作所)
〃 鳥居良介 (阪上製作所)
〃 黒須 寛 (イハラサイエンス)
〃 岩崎宏文 (イハラサイエンス)
〃 齊藤理人 (日本アキュムレータ)
〃 内田 晃 (日本アキュムレータ)

(広報・PR 関連事業)

第119回編集委員会WG

開催日 12月7日 (木)
出席者
主査 宮 能治 (KYB)
副委員長 水野純一 (CKD)
委員 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
〃 松島嘉則 (阪上製作所)
〃 神戸孝典 (甲南電機)
〃 小辻一雄 (コガネイ)
〃 豊田敏久 (川崎重工業)
〃 永井茂和 (SMC)
〃 東川智信 (TAIYO)

・標準化 (委) 空気圧バルブ分科会
15日 (金)
・第26回政策委員会
・標準化 (委) 空気圧システム分科会
・技術 (委) 空気圧部会第542回特許分科会
・技術 (委) ADS 標準化推進事業規格化小委員会
20日 (水)
・標準化 (委) 空気圧調質機器分科会
22日 (金)
・標準化 (委) 空気圧継手・チューブ分科会
28日 (金)
・仕事納め

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

~~~~~  
月間行事概要  
~~~~~

<12月>

4日 (月)
・国際交流 国際委員会及び講演会
7日 (木)
・ISO (委) 油空圧継手・ホース分科会
・広報・PR 事業 WG 編集委員会
8日 (金)
・標準化 (委) 油空圧シリンダ分科会
12日 (火)
・標準化 (委) 油圧フィルタ・作動油分科会
14日 (木)